# 令和７年度　こども・若者会議

# ひめじＶＯＩＣＥプロジェクト

## ＜提案に対する市の考え方＞

こども・若者会議でこども・若者のみなさんからいただいた提案に対する

施策への反映状況や今後の取組内容など、市の考えをまとめました。

令和８年(2026 年)３月

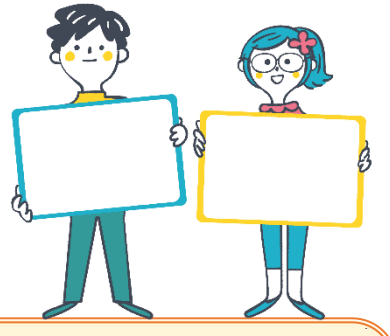
姫路市こども総務課

# こども・若者会議の目的

こども・若者会議は、**こどもの意見表明権**を大切にすることを目的に、
姫路市の取組について、こども・若者のみなさんの意見（思いや考え）を聴いたり、
みなさんと話をしたりする場として、令和７年度の夏にはじめて開催しました。

こども・若者会議に参加したこどもたちは、
グループに分かれて、さまざまなテーマについて話し合い、
会議の最終日には、市長に話し合った内容を伝える「意見発表会」を実施しました。

また、会議には、こども・若者のみなさんが安心して楽しく話し合えるように、
大学生がグループワークに参加し、グループでの話し合いの進行をサポートしました。



**こどもの意見表明権**とは、こどもの権利の１つで、

こどもは自分にかかわることについて、自由に意見を表すことができる権利のことです。

# 令和７年度の開催内容

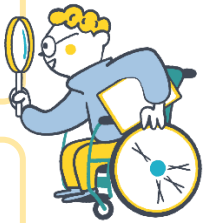
| | |
|---|---|
| 参加者 | 小学生５名、中学生５名、高校生１３名 |
| 実施日 | ①７月２８日(月)、②７月３１日(木)、③８月７日(木)、④８月１８日(月)、⑤８月２３日(土)の全５回 |
| 実施場所 | 第１回～４回：姫路市総合福祉会館会議室　　第５回：姫路市役所（姫路市議会本会議場） |
| テーマ | 「勉強スペースを増やしたい！」、「姫路市の観光」、「学習についていけないこどもを救いたい！」<br>「防災」、「スポーツをもっと身近に！！」、「政治」 |

## 会議の流れ

**第１回**
- オリエンテーション
- グループづくり、話し合うテーマの決定

**第２回**
- テーマの内容について「現状と理想の分析」を行い、自分たちの思いを話し合う

**第３回**
- 話し合いをかさね、市への提案内容を固める



**第４回**
- 意見発表会に向けた資料の作成
- 発表の練習

**第５回**
- 市長や市の職員へ話し合った内容を発表（意見発表会）
- 市長との意見交換会

# 提案テーマ①

## 勉強スペースを増やしたい！

## 【目標：自習スペースを増やしてほしい】

| 提案内容 | 市の考え |
| --- | --- |
| 各地域の公民館に自習スペースを設置<br>（期間限定ではなく１年中） | 市立公民館では、共用スペースや会議室を開放しており、自習を目的とした利用ももちろん可能です。なお、常時開放している館と、日時を決めて開放している館がありますので、詳しくはお近くの公民館にご確認をお願いします。 |
| 自習スペースに、<br>Free Wi-Fi を設置する<br>飲食可能な席をつくる<br>長時間滞在ＯＫの貼紙を貼る | 現在、すべての市立公民館で Free Wi-Fi を設置していますので、自習のときにあわせてぜひご活用ください。 |

| 提案内容 | 市の考え |
| --- | --- |
| ●会社や飲食店に、空きスペースを自習スペースとして貸し出してもらう<br>（神戸市の「まちなか自習室」を参考）<br><br>●兵庫県の「自習室マップ」の姫路市バージョンをつくる | 姫路市では既にいくつかの公共施設において自習可能なスペースを設けており、姫路市ホームページで情報提供を行っています。<br>【参考：姫路市ホームページ】<br>https://www.city.himeji.lg.jp/faq/faq_detail.php?frmId=1430<br><br>また、市内の大学や企業などでも自習スペースとして開放する取組が行われており、兵庫県のホームページ（兵庫県「自習室マップ」）に掲載されています。<br>【参考：兵庫県「自習室マップ」】<br>https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk08/chiikishinko/jishuushitsu.html<br><br>今後は、提案いただいた兵庫県の「自習室マップ」を参考にしながら、市の施設の情報の伝え方や、大学や企業などの自習スペースに関する情報もお伝えできるよう検討していきたいと思います。 |

# 提案テーマ②

## 姫路市の観光

## 【目標：姫路市の観光を盛り上げよう】

| 提案内容 | 市の考え |
| --- | --- |
| 観光客の滞在時間を延ばすために、姫路城と一緒に楽しめるものが必要。<br><br>そこで、<br>●姫路市に城下町を復活させる<br>・姫路城の前の大手前通りや商店街の外装を城下町風にする<br>・江戸風な格好をした人を歩かせる | ・観光客の滞在時間を延ばすためには、姫路城以外の観光客の目的地を作ることに加えて、観光客に情報を届けることも重要だと考えています。<br>姫路市では、観光客の滞在時間増加のため、夜間の大手前通りイルミネーションや、早朝の姫路城内を活用したツアーの造成に向けた取組等も進めています。提案いただいた若者のみなさんの柔軟な発想を参考にし、効果的なＰＲを行っていきます。<br><br>・まちなかを一体感のある空間にするためには、管理・所有をしている自治体・企業・建物のオーナーに加え、住民、まちづくり団体など、さまざまな主体が連携し、将来像実現に向かう取組方針を示したビジョンを共有することが必要です。<br>今回の提案を、取組方針を考えるときの参考とし、観光客が楽しみながら歩けるまちを目指して、民間事業者と一緒に取り組んでいきます。 |

# 提案テーマ③

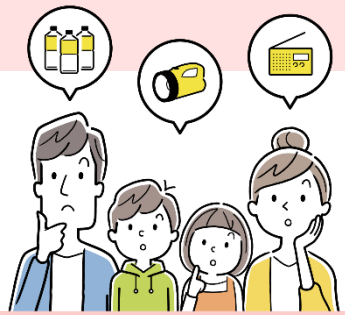
## 学習についていけないこどもを救いたい！

## 【目標：学習についていけないこどもを救いたい！】

| 提案内容 | 市の考え |
| --- | --- |
| 「勉強の仕方がわからない」、<br>「やる気が出ない」、<br>「経済的に余裕がないから勉強できない、塾に行けない、参考書を買えない」、<br>「勉強をめんどくさいと思っている」、などの理由で勉強についていけないこどもを救うために、<br><br>●ゲーム感覚で勉強をできる仕組みをつくる<br>●参考書などの教材を、安く、または、無料で譲ってもらえる場所をつくる<br>●市の施設で、ボランティア等に勉強を教えてもらえる場をつくる<br><br>などの解決策を提案 | 「ゲーム感覚で勉強する」はこどもたちの感覚ならではのアイデアであり、既存の方法にとらわれず、こどもたちが「自分もやってみたい！」と思えるような新しい発想を考えていく必要があると感じました。<br>また、「参考書などの提供場所」「市の施設などを活用した学習支援」といった、経済的な事情を抱える家庭へのサポートに関する提案も、非常に重要な視点です。こどもたちが抱える課題はさまざまであり、それぞれによりそった支援が必要であると感じました。<br>今回の提案を参考に、今後も、学習プラットフォーム等のＩＣＴ環境も活用し、すべてのこどもたちが自分のペースで、楽しく学びを続けられる環境づくりを進めていきます。<br><br> |

# 提案テーマ④

## 防災



## 【目標：防災への知識の浸透、ペットと共に避難】

| 提案内容 | 市の考え |
| --- | --- |
| ハザードマップにペットを受け入れてくれる施設の記載 | 市のホームページで、避難所ごとのペットの受入可否を公表していますが、今回の提案をふまえ、次回のハザードマップの更新時には、ペットの受入可否を掲載する予定です。 |
| ハザードマップの情報や災害防災知識を SNS で呼びかけ | 姫路市では、防災行政無線のほか、市公式 LINE やＸなど、さまざまな手段を通して、日ごろは「災害の備え」を、災害時は「避難情報」などの情報発信を行っています。<br>今回の提案により、「ペットの受入れ体制を多くの方が知らない」ことを示され、日ごろから SNS を活用して、受入れ可能な避難所やルールなど、分かりやすく呼びかけていくとともに、災害時においても、可能な限り具体的な情報を市民に届けられるように取り組んでいきます。<br>令和８年度からの新たな取組として、毎月 17 日を「ひめじ防災家族会議の日」とし、市公式 LINE やＸなどで防災対策に関する情報を発信していきます。 |

| 提案内容 | 市の考え |
| --- | --- |
| 姫路市でペットと一緒に避難訓練 | ペットの飼い主さんは、災害が起こった時に一緒に避難するために、日ごろからペットフードやペットシーツなどを準備しておくことが必要です。また、避難所では、ケージで過ごすことが考えられるので、ケージに入る訓練や無駄吠え防止のしつけをしておくことも大切です<br>姫路市では、関係する部署が話し合い、ペットとの同行避難訓練を計画し、飼い主さんの防災意識を高めるよう取り組んでいきたいと思います。 |
| ペットとの同行避難を行う | 思いがけない災害が起こった時には、ペットと一緒に避難すること（同行避難）が基本です。姫路市は、避難所でのペットを飼うスペースの確保や、安全に同行避難ができるよう取り組みながら、これからも、人とペットの災害対策を市民にお知らせし防災意識が高まるように働きかけたいと思います。 |
| 姫路市内のさまざまなところにハザードマップを設置 | 現在姫路市では、サービスセンター等の市の施設に、市民への配布用としてハザードマップを設置したり、スマートフォンでも電子版が確認できるようにしています。<br>今回の提案をふまえ、より多くの方の目に触れるように、ハザードマップをサービスセンター等の市の施設に掲示するなど、市民が災害リスクを「自分ごと」としてとらえ、適切な避難行動につなげるよう、周知に取り組んでいきます。 |

# 提案テーマ⑤

## スポーツをもっと身近に!!

【目標：部活・チーム活動以外でも"気軽"に自主練できるようにしたい
部活などをしていない人でももっと身近にスポーツができる場所を作りたい】

| 提案内容 | 市の考え |
| --- | --- |
| もっとスポーツ施設を増やす | 姫路市でも、こどもたちができるだけスポーツを楽しめるように、サッカー場などのスポーツ施設を増やしたいと考えています。<br>しかし、新しい施設を作るにも、作ったスポーツ施設をきれいに保つにもたくさんの費用がかかります。<br>そのため、市民のみなさんからいただく税金だけではなく、スポーツ施設を使う方にも、利用料を少しずつ払っていただいています。 |
| 高校生までのスポーツ施設の料金をもっと安くする | 姫路市では、こどもたちができるだけスポーツを楽しめるように、市内の学校に通う小中生は、大人の半額で使用できます。ウインク陸上競技場は高校生まで半額です。また、手柄山平和公園にあるサブトラックは無料です。<br>いただいた提案を受け止め、今後、スポーツ施設などの利用料について、市の予算（お金のやりくり）も考えながら検討していきます。 |

# 提案テーマ⑥

## 政治

## 【目標：若者が社会を変えられると思えるようにするために】

| 提案内容 | 市の考え |
| --- | --- |
| こども・若者会議の続行 | 今回、こども・若者会議でみなさんからいただいた意見は、姫路市にとって重要な気づきとなりました。これからも、こどもや若者のみなさんの声を聴き、その意見を市の施策に反映させるための場として、こども・若者会議を続けていきたいと思います。 |
| 高校生 or 中高生リバースメンターの実施<br>（高校生 or 中高生が知事や市長などに政策を提案し、事業化する取組） | こどもや若者が、より良いまちづくりに向け、大人たちに自分たちの声を届けるために、提案いただいた制度だと思います。みなさんの声は、我々、市役所の職員に新たな「気づき」を生むきっかけとなります。また、若者の声が大人に届き、実際に事業化されれば、若者のまちづくりへの意識も変わってくると思います。<br>提案いただいた「リバースメンター」制度については、令和６年度から、高校生のみなさんに学校での探究活動の成果を発表いただき、その内容について市長と意見交換を行う事業を試行的に実施しており、令和８年度以降は、この取組を本格実施する予定です。<br>また、ほかにも、今回の「ひめじ VOICE プロジェクト」や、高校生モニター制度、市民の声制度など、みなさんの意見を市政に反映できる制度があります。<br>さまざまな機会を利用して、日々の生活の中で気づいたことや、思い描く姫路の未来の姿など、大人では考えつかないみなさんのアイデアをどんどん提案してほしいと思います。 |

| 提案内容 | 市の考え |
| --- | --- |
| こども選挙の実施<br>（市長選挙などに合わせてこどもが実際の候補者に投票する） | 実際の市長選挙などに合わせてこども選挙を行うことは、法律に違反する恐れがあるため難しいですが、姫路市でも、こども・若者のみなさんに選挙への関心をより強く持ってもらえるように、選挙についての仕事をしている選挙管理委員会事務局の職員が、公民館やみなさんの学校を訪問して行う出前講座の中で、投票などの体験をしていただいています。<br>これからもさらに、若い世代のみなさんに、選挙への理解を深めてもらうよう取り組んでいきます。 |
| 市長とのランチトークの実施<br>（学校で給食時間にリモートで市長とまちづくりなどについて話し合う） | 姫路市では、市民のみなさんの意見を市政に活かすため、市長と市民のみなさんが意見交換を行う機会として「タウンミーティング」を実施しています。<br>今回提案いただいた「市長とのランチトーク」など、さまざまなアイデアを参考にしながら、みなさんが市長と気軽に対話できる機会を作っていきたいと思います。 |
| 政治のしくみについての漫画・アニメ作成<br>・自治体で政治の仕組みについて解説する漫画やアニメを制作<br>・市民に配ったり目のつくところに見せたりする<br>・製作を高校生などに協力してもらう | 漫画・アニメは若者に身近な媒体であり、教科書や新聞よりも親しみやすく、視覚的に楽しく学ぶことができます。加えて、複雑な政治の仕組みを分かりやすく伝えることができる点も有効です。<br>また、制作に高校生が協力することは、作成者である若者が主体的に政治に関わるきっかけとなりえます。同時に、情報を受取る小中学生を含む市民にとっても、身近で親しみやすく、有効な教材となると思います。<br>今回の提案を通じて、こどもたちが政治や社会の仕組みを主体的に考え、より良い未来を築いていくことを期待しています。 |

# さいごに

会議では、たくさんの提案をいただき、本当にありがとうございました。

みなさんからいただいた提案は、姫路市にとって、とても貴重な気づきとなりました。

みなさんの提案をできるかぎり取り入れながら、
姫路市はこれからも「こどもや若者が希望を持ってすこやかに育ち、未来へつながるまち」を目指して、
さまざまな取組に全力で取り組んでいきます。

こども・若者のみなさんも、市役所の人や地域の人たちと一緒に、
姫路のまちをよりよくするため、いろいろなことに参加してみてください。

このたびはご協力いただき、ありがとうございました。